

苫小牧市民会館施設利用の新型コロナウイルス感染防止対策について

I、大声での歓声、声援などが無いことを前提としうるもの

「施設管理運営事業者側対策」

1、市民会館職員感染予防対策

市民会館全職員は館内の用務の際にはマスクを着用し利用者、来館者との対応を行う。

また、常に手指消毒を行うとともに、用務中間時及び終了時には手洗いの励行ならびに除菌作業の際には廃棄用手袋を着用し作業を行う。

2、市民会館利用者

市民会館利用者は、管理棟、ホール棟入館者全てにマスク着用を要請する。

主催者は出演者、観客全てに発熱、咳など検温等で確認うえ、有症者には入館を控えていただくよう要請する。

3、非接触式体温計の主催者側に貸与

1台貸与のうえ主催者側で活用を要請。

4、手指消毒液の配置

(1) 管理棟

管理棟正面玄関ロビー、南側玄関出入口、トイレ出入口前、2階ロビー、3階ロビー、小ホール内出入口に配置いたします。

(2) 大ホール棟

ホール正面玄関ロビー、ホール客席1階左右出入口前、ホール2階ロビー、楽屋の1・2階廊下、舞台下袖に配置いたします。

5、手洗い用石けん（ポンプ式）配置

(1) 管理棟

各階男女トイレ手洗い器に10か所配置しております。

(2) 大ホール棟

各階男女トイレ手洗い器、楽屋トイレ手洗い器に10か所配置しております。

6、施設内除菌対策（アルコール除菌剤）

(1) 管理棟

玄関・会議室等ドアノブ、テーブル、椅子、放送設備等、電気スイッチ、階段手摺、各トイレドア・便器・手洗い器、エレベータ内外階指定ボタン等拭き上げ除菌。

(2) 大ホール棟

玄関ドアノブ、ホール出入口ドアノブ、ロビー手すり、電気スイッチ、各楽屋・各部屋ドアノブ、ホール内椅子背もたれ部分・ひじ掛け部分、手摺等、各トイレドア・便器・手洗い器等拭き上げ除菌。

7、会議室内換気

会議中は常に窓、出入ドアを開放し換気に努める。また、天候などにより窓の常時開放ができない場合には適宜休憩時間取得を要請し、窓・出入口ドアを開放し換気する。

8、小ホール内換気

使用前、中休憩時に出入口、窓を開放し換気を行うよう要請する。

9、大ホール内換気

使用前、中休憩時の換気はホール出入口、外気に面した非常口、機材搬入口、排煙換気口を開放のうえ10～15分換気の実施を要請する。また、中休憩時観客はトイレ、ロビーに出向くなど席を離れる際には、密集とならない様、出入口、左右ブロック毎など主催者に要請する。

10、会議室収容数

会議室の形状、利用者の机配置要望等種々異なることから、基本的には対面での会議、演台等から2m以上の十分な間隔を空けた配置といたします。また、180cmのテーブルに3名の着席とし、テーブル間は一定程度の間隔を空けます。

なお、マイクを利用する場合には除菌用アルコール、ふき取り用ペーパーを用意する。

1 1、小ホール収容数

利用者の催事内容により使用形態は異なることから、舞台使用の場合、舞台不使用で演台利用の場合もそれぞれの先端から2m以上の十分な間隔を空けた配置といたします。

また、180cmのテーブルに3名の着席とし、テーブル間は一定程度の間隔を空けます。

なお、マイクを利用する場合には除菌用アルコール、ふき取り用ペーパーを用意する。

1 2、大ホール収容数

(1) 主催者はイベント開催中大声を出さないよう抑止の対策及び大声を発する者への注意喚起対策を講ずるよう要請を行います。

(2) ステージ前端から座席2列目から座席指定とし、ステージ 前端から2座席目までの距離270cmの間隔を確保する。

また、2階最後尾通路(全長20m、幅1m)の立ち席は1㎡1名とし20名とする。

このことから、大ホール収容定員1,726名を1,617名とする。

なお、「大声での歓声・声援等が想定されるもの」の場合には、ステージ前端から座席3列目から座席指定とし、ステージ 前端から3座席目までの距離360cmの間隔を確保する。また、収容数はグループ5名の着席及び5名両端の空席とする収容数1,303名を上限とする。かつ収容率50%以下の782名を下限とする。よって上限収容数から下限収容数は「大声での歓声・声援等が想定されるもの」の内容及び集客単位等により主催者と協議のうえ収容数を決定する。

(3) 座席指定方法は着席不可箇所「禁止着席」を掲示する。

1 3、大ホール舞台上演者数

舞台上の収容数は催事により異なることから、舞台上の有効面積200.07㎡に対して1.77㎡の円内に1名とし、収容数を113名といたします。

1 4、入退場時の来場者の対応

入場時の来場者行列が密集しないようラインを引くなど密集を避ける対策を講ずるとともに開場時間に余裕のあるスケジュールとするよう要請を行います。また、退場時は、各階ブロックごと、左右入退場出入口ごとの退場を主催者側が退場誘導を行う。

入場者のチケット窓口は一定の距離を置きチケットを目視することで入場を許可するよう主催者に要請を行う。さらに、イベントパンフレット等は来場者自ら徴取するよう要請する。

1 5、ホール入場者の把握

イベント等の来場者の把握については、「北海道コロナ通知システムや接触確認アプリ

(COCOA)を会場入り口などに掲示しダウンロードを観客に要請するとともに、入場者の同意を得たうえで入場チケット裏側に氏名・住所・連絡先電話番号を記載する措置等来客者の把握を主催者に要請いたします。

1 6、使用機材の除菌

イベント時使用するマイク等は当館で使用の都度除菌を行う。

1 7、イベント終了後の除菌対策

イベント終了後は客席のひじ掛け、背もたれの他使用機材等の除菌を行う。

以上